

全建発第5-141号
令和5年9月27日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第699回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本建設技術講習会では、都市部門は都市行政に関する施策の体系と今後の展望、都市再生と官民連携まちづくり、交通まちづくりと街路政策の動向、市街地整備施策の動向、総合的な都市防災対策の推進、公園緑地・景観施策の動向、河川部門は河川行政に関する施策の体系と今後の展望、「流域治水」の本格的実践、水辺空間における良好な環境と賑わい創出の取組、砂防事業に関する施策と今後の展望、ダムの維持管理に関する施策と今後の展望、河川の維持管理に関する施策と今後の展望などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

全建発第5-142号
令和5年9月27日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第699回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向とi-Constructionの取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第699回建設技術講習会では、都市部門は都市行政に関する施策の体系と今後の展望、都市再生と官民連携まちづくり、交通まちづくりと街路政策の動向、市街地整備施策の動向、総合的な都市防災対策の推進、公園緑地・景観施策の動向、河川部門は河川行政に関する施策の体系と今後の展望、「流域治水」の本格的実践、水辺空間における良好な環境と賑わい創出の取組、砂防事業に関する施策と今後の展望、ダムの維持管理に関する施策と今後の展望、河川の維持管理に関する施策と今後の展望などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第699回建設技術講習会のポイント



都市・河川行政担当者必聴！業務に直結する各種講義

○開催日：令和5年11月29日（水）～12月1日（金）

○開催場所：福島県福島市

○テーマ：都市行政の課題・河川行政の課題〈2会場〉

○主な講義内容

国土交通本省の講師による

「都市行政に関する施策の体系と今後の展望」「河川行政に関する施策の体系と今後の展望」

ほか、都市・河川分野における最新の施策と取組を紹介！

○現場研修

- ・ ICに直結する新たな工業団地と、復興のシンボルとなる道の駅（令和4年度全建賞受賞事業）！

第2期福島おおざそうインター工業団地および道の駅ふくしま [福島市]

- ・ 関係機関が連携し治水対策を実施！氾濫被害防止のための橋梁架替工事

阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト～市道I-22号線雲水峯大橋架替工事～ [東北地整]

- ・ 地元企業とともに、魅力あふれる公園を目指した整備！ 翠ヶ丘公園Park-PFI事業 [須賀川市]

- ・ かんがい専用ダムに治水機能を付加！多目的ダムとして再開発 千五沢ダム再開発事業 [福島県]

主催：(一社)全日本建設技術協会、福島県(予定)、福島市(予定) 後援：国土交通省

第699回建設技術講習会(都市行政の課題・河川行政の課題<2会場>)概要 ～都市行政及び河川行政施策の最新情報と重要施策の具体の取組について学ぶ～

会場 ……コラッセふくしま(1日目)合同/(2日目)都市部門(多目的ホール)
(2日目)河川部門(企画展示室)
〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 TEL024-525-4089

(1日目) 開場11:40		令和5年11月29日(水)【聴講(合同)】多目的ホール		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	福島県知事 福島市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	内堀 雅雄 木幡 浩一 秋山 栄一	
13:00 }	都市行政に関する施策の体系と今後の展望	国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官	角田 陽介	
14:10 }	河川行政に関する施策の体系と今後の展望 ～近年の水害被害と水災害対策の取組みについて～	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 課長補佐	栗原 太郎	
15:20 }	【地域事業の紹介①】 阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクトの概要	国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所長	丸山 和基	
15:40 }	【地域事業の紹介②】 千五沢ダム再開発事業について(仮)	福島県河川整備課主幹	山野辺 豊	
16:00 }	【地域事業の紹介③】 福島駅東口エリアの「まちづくり」と「賑わいの 創出」について(仮)	福島市都市政策部長	森 雅彦	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」<希望者のみ> エルティ ウェディング&パーティ エンポリウム 0120-6188-39				
(2日目) 開場 9:00		11月30日(木)【聴講(都市部門)】多目的ホール		(敬称略)
9:40 }	都市再生と官民連携まちづくり	国土交通省都市局まちづくり推進課 国際競争力強化推進官(併)官民連携推進室長	山田 大輔	
10:40 }	地域交通とまちづくり	国土交通省都市局街路交通施設課課長補佐	近安 規晃	
13:00 }	市街地整備に関する最近の動向 ～多様なライフスタイルを支える持続可能なまちづくりに向けて～	国土交通省都市局市街地整備課 拠点整備事業推進官	高峯 聡一郎	
14:10 }	総合的な都市防災対策の推進	国土交通省都市局都市安全課課長補佐	大野 和彦	
15:20 }	都市公園施策の動向	国土交通省都市局公園緑地・景観課 公園利用推進官	石川 啓貴	
16:20 }	閉会のあいさつ	福島県土木部次長(都市担当)	大竹 和彦	
(2日目) 開場 9:00		11月30日(木)【聴講(河川部門)】企画展示室		(敬称略)
9:40 }	「流域治水」の本格的実践 ～最近の施策・制度の動向を中心に～	国土交通省水管理・国土保全局治水課 課長補佐	富本 和也	
10:50 }	水辺空間における良好な環境と賑わいの創出の取組	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 技術調整官	舩田 直樹	
13:00 }	砂防事業に関する最近の取組について	国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課土砂災害防止技術推進官	山本 悟司	
14:10 }	ダムの維持管理に関する施策と最近の取組について ～ダムの機能を最大限発揮するために～	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 流水管理室課長補佐	松木 浩志	
15:20 }	河川の維持管理に関する施策と今後の展開	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室長	尾松 智	
16:20 }	閉会のあいさつ	福島県土木部河川計画課長	唐橋 薫	
(3日目) 集合 8:00～		12月1日(金)【現場研修】		(敬称略)

J R福島駅西口駐車場(8:20)出発

- 第2期福島おおぞうインター工業団地および道の駅ふくしま[福島市]
- 阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト[東北地整] → 昼食(須賀川市内)
- 翠ヶ丘公園Park-PFI事業[須賀川市] → 千五沢ダム再開発事業[福島県]
- 福島空港(15:40)/J R郡山駅(16:20)/J R福島駅 17:30着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度：聴講8単位 / 現場1.5単位 CPDS認定(予定)プログラム：聴講**ユニット / 現場**ユニット

第699回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 第2期福島おおぞうインター工業団地および道の駅ふくしま [福島市] …… 福島県福島市

- ・福島おおぞうインター工業団地は、東北中央自動車道の福島大笹生ICに直結する工業団地。
- ・福島市では新たな雇用の創出、産業の振興に向け、現在の工業団地の東側で分譲面積約16haの新たな工業団地の整備に向けて事業を進めている。
- ・道の駅ふくしまは、福島大笹生IC隣接地に令和4年4月にオープンした重点道の駅。
- ・県産材を使用した魅力的な空間を提供するとともに、防災拠点としての機能を併せ持った復興のシンボルにふさわしい整備を実現した。令和4年度全建賞受賞事業。



2 阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト～市道I-22号線雲水峯大橋架替工事～ [東北地整]

…………… 福島県須賀川市

- ・「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」は、令和元年の東日本台風により、阿武隈川において堤防決壊、越水、溢水により甚大な被害が発生したことを受け、国・県・市町村が連携し策定。概ね10年で築堤、河道掘削、遊水地整備等の治水対策を実施することとしている。
- ・須賀川市内の雲水峯橋付近では、流下能力不足のため、東日本台風により越水などの甚大な被害が発生した。
- ・これを受けて、同程度の洪水から氾濫被害を防止するため、河川管理者と工作物管理者（須賀川市）の合併事業として雲水峯大橋の架替工事を行っている。



3 翠ヶ丘公園Park-PFI事業 [須賀川市]

…………… 福島県須賀川市

- ・翠ヶ丘公園は、日本の都市公園百選に選定された須賀川市を代表する都市公園。
- ・福島県内で初めてPark-PFI（公募設置管理制度）を活用し、地元企業とともに魅力あふれる公園を目指した整備を進め、令和5年度に完了。
- ・温浴施設やカフェ等が公園内にオープン。温浴施設は大浴場、露天風呂、室内サウナ、屋外サウナ、水風呂などを備え、施設内にも飲食店がオープン。
- ・カフェ内観はユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、多くの方が快適に利用できる心地よい開放感のある空間を目指して整備された。



4 千五沢ダム再開発事業 [福島県]

…………… 福島県石川郡石川町

- ・千五沢ダム再開発事業は、かんがい専用ダムに治水機能を付加するため、既設洪水吐きの改築を行う事業。
- ・千五沢ダムは、昭和50年3月石川郡石川町に完成したかんがい専用のダムであった。その後、農業情勢の変化でかんがい面積が減少し、ダムの空き容量を利用して、治水機能を付加した多目的ダムとして再開発することとした。
- ・治水機能の付加により、下流を洪水被害から守るとともに、既得取水の安定化、河川環境の保全を行うため既設洪水吐き等の改築工事を行っている。
- ・今年度試験湛水を行い、令和6年度に運用開始を予定している。



第699回建設技術講習会【聴講】の申込みについて

【聴講の申込み】

1. 申込み手続き

申込み時に次の手続きが必要になります。

- ① 申込書の送付
- ② 聴講料の振込
- ③ 現場研修料の振込（現場研修に参加する場合のみ）

2. 申込み方法

① 申込書の送付

申込書に必要な事項を入力し、次の送付先アドレスにメールで送付して下さい。

なお、聴講料等〔下記②及び③〕は、受付確認のメール受信後から開催前日までの間に
お振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス nishitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受け付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受け付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に申込書が届きます。

② 聴講料の振込

参加者の聴講料を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数の「699」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

（税込み）

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務	13,700円※3	2,100円	2,100円※2	—
開催県内の市町村に勤務※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村に勤務※1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満	18,800円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

（参考）

③ 現場研修料の振込

「第699回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載しています。

3. 申込み締切日

令和5年11月1日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

4. 聴講の申込み内容の変更・取消

① 方法

申込み内容に変更又は取消が生じた場合、送付済の申込書に変更箇所がわかるように入力し、件名に「変更」又は「取消」と明記の上、2. の送付先アドレスに再送して下さい。電話での変更・取消は受付できません。

② 取消料について

取消日に応じて、下記の取消料が発生します。講習会終了後に所属協会等の指定口座へ、取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

取 消 日	取 消 料
7日前（11月22日）～前日（11月28日）	聴講料の 50%
当 日（11月29日）	聴講料の100%

③ 現場研修の申込み内容の変更・取消

「第699回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載しています。

5. その他

- ・テキストは当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）もご覧ください。

6. 問合せ先

① 建設技術講習会

聴講の内容・申込み/現場研修の内容

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

登録番号：T4010405000433

② 現場研修の申込み

「第699回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載しています。

③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第699回建設技術講習会【現場研修】の募集について

1. 日 程：

令和5年12月1日（金）8:20～17:30

集合（乗車）8:00～

- 第2期福島おおぞうインター工業団地および道の駅ふくしま [福島市]
- 阿武隈川上流緊急治水対策プロジェクト [東北地整]
- 昼食（須賀川市内）
- 翠ヶ丘公園Park-PFI事業 [須賀川市] → 千五沢ダム再開発事業 [福島県]
- 福島空港（15:40）／J R郡山駅（16:20）／J R福島駅 17:30着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添 乗 員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行(株)添乗員が同行します。

3. 旅行代金：9,800円（税込）※昼食代1,650円（税込）含む （現場研修料）

4. 申込方法：

① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し、次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

※福島空港で下車予定の方は、所定の欄に「○」を入力してください。

（参考にお伺いするもので、入力がないと福島空港で下車できないものではありません）

なお、申込金〔下記②〕については、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス nishitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に申込書が届きます。

② 旅行代金（現場研修料）の振込

参加者の旅行代金（現場研修料）を次の銀行口座に振込んで下さい。

振込口座：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472

口座名義：ニシテツリョコウ（カ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数の「699」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

5. 申込締切日：令和5年11月1日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 取 消 料 :

取 消 日	取 消 料
10日前～8日前	現場研修料の 20%
7日前～前々日	現場研修料の 30%
前日	現場研修料の 40%
当日	現場研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の 100%

7. 申込のお問合せ :

西鉄旅行（株）全建担当デスク Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0324

8. 視察内容のお問合せ :

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546

9. 旅行企画実施 :

西鉄旅行（株）東京団体支店 東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
（一社）日本旅行協会正会員 MAIL zenken@nnr-g.com

10. そ の 他 :

研修料の領収書は、入金を確認し研修終了後に送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。

参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

第699回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年11月29日(水) 17:30 ~ 19:00(予定)

場所：エルティ ウェディング&パーティ エンポリアム
(会場及び現場研修集合場所案内図 参照)

会費：2,000円
(受付時にお支払いいただきます)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催を中止とする場合があります。
- ※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。
- ※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に ○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る
 - ①参加者の知見と人脈を広げる(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
- ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

宿泊斡旋のご案内

- ① 宿泊斡旋：参加者には福島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
- ② 宿泊予約申込み：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
- ③ 申込み先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail nishitetsu@zenken.com
 申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

- ④ 取り消しについて：

宿泊日の3日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
 取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

- ⑤ 斡旋する宿舎名、宿泊料

令和5年11月28日～30日

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
① 東横INN福島駅西口 〒960-8053 福島市三河南町4-4 TEL 024-534-1045	シングル	(28日 20人) 40人	8,000円
② リッチモンドホテル福島駅前 〒960-8053 福島市三河南町1-15 TEL 024-526-1255	シングル	(28日 20人) 40人	12,100円

- ※申込み締切り後、参加者が決定次第、「宿泊案内」を送付します。
 ※ご希望のホテル番号（①～②）を申込書に記入してください。先着順で手配いたします。
 番号のご記入がない場合には、空室のホテルから手配いたします。
 ※喫煙ルームをご希望の方は、申込書に“喫”と記入してください。
 ※喫煙・禁煙ルームの数にはそれぞれ限りがある為、ご希望に添えない場合があります。

【幹旋ホテル案内図】

